



JASDAQ

2019年5月14日

各 位

長野県伊那市西箕輪 2148 番地 188
株式会社イナリサーチ
代表取締役社長 中川 賢 司
(コード番号: 2176)
問い合わせ先: 執行役員 総務部長 野竹 文彦
電話番号 0265(72)6616

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社ではこの度、新たに2019年度(2020年3月期)を初年度とする「中期経営計画(2019年度-2021年度)」(以下、「本中期経営計画」といいます。)を下記のとおり策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 前中期経営計画の総括

「前中期経営計画(2016年度-2018年度)」の最終年度である2018年度(2019年3月期)の業績は売上高2,585百万円(前中期経営計画2,525百万円)、経常利益60百万円(同140百万円)、当期純利益56百万円(同77百万円)となり、売上高は計画を達成したものの、経常利益、当期純利益で計画を下回りました。

2018年度において、第1四半期の稼働率の伸び悩みを挽回しきれなかったことにより、利益計画は未達となりましたが、前中期経営計画の3期を通じて黒字を確保し、受注・受注残高も順調に積み上がっております。

また、SEND(注1)、海外展開、顧客層の拡大など、事業戦略が実を結び始めている事から、経営基盤の強化という点では着実に進展があったものと総括しております。

※前中期経営計画は連結ベースで策定されておりますので、2018年度決算数値との比較はあくまで参考であります。

2. 本中期経営計画基本方針

当社は「人類の永遠の平和共存を願い、生命科学の探求を通じて明日の医療を実現すると共に、地球環境の維持向上に貢献する」という経営理念(社是)を掲げ、医薬品、医療機器、農薬、化学物質、再生医療等製品の開発支援事業並びに環境事業に取り組んでおります。

現在、医薬品市場は、世界的に見れば人口の増加や各国の平均寿命の伸長などに伴い着実に拡大しており、安定的な市場を形成しているものと見ております。

また、がんや中枢関連、希少疾患などアンメット・メディカル・ニーズ(注2)や新たな感染症問題に対応するべく、従来の低分子医薬品と併せ、抗体医薬品、核酸医薬品、再生医療、遺伝子療法といったバイオ医薬品の技術が広がりつつあり、新規参入可能な領域として先進国を中心とした多くの国々が開発に乗り出しています。

国内においては、医療費の圧縮政策に伴い製薬各社は経営資源集中化に迫られており、ターゲット領域への集中化や、社内業務の分離・外注化等が更に進む事も予想されます。

このような市場環境にあり、当社に求められること、取り組むべき課題は以下であるものと認識しています。

(1) 健全かつ地道な事業拡大

キャパシティや試験機能の拡充に向けた投資・増員と、国内外での営業活動の拡大を計画的に実行し、着実な売上と収益の向上を目標に取り組めます。

併せて事業提携先との関係強化を進めると共に海外CRO代理店業務の拡大を図り、より業界や技

術面において広範囲かつ深みのあるサービスを網羅できるよう総合的かつグローバルな体制構築を目指します。

(2) 信頼性の遵守、サービスの向上、改善活動の継続

これらはどの時代もどのような環境下にあっても、当社事業の根幹を成す永遠の課題です。

外部環境の変化にも囚われる事なく、経営方針、教育活動、日々のコミュニケーション、改善活動などあらゆる事業活動を通じて維持向上に取り組みます。

(3) 更なる研究開発型企业へ

今まで取り組んできた様々な試験法の開発を通じて、再生医療や遺伝子治療など新たな領域の評価技術に対する研究開発に取り組み、常に先を見据えた研究開発企業となるべく、アカデミアとの関係強化を図って参ります。

(4) 環境事業の拡大

弊社の環境事業は、一定割合の空気を循環しながら再利用する事によりエネルギーコストを大幅に軽減するというコンセプトのもと、独自の湿式空調及び乾式空調を製造販売し、技術を蓄積して来ました。過去の関係企業の実績も含め国内においては20年以上に渡り100件以上の納入・使用実績があり、納入業界も多岐に渡っています。

近年、電気や重油などエネルギーコストは日本のみならずアジア各国でも高騰しており、弊社の空調コンセプトが受け入れられやすい土壌は形成されているものと見ています。

今後、国内外の協力網を構築すると共に、価格の低廉化を図り、販売市場の拡大を図ります。

(5) より働きやすい企業へ

「働き方改革」への適応を図ると共に、社員教育、キャリアプランなど個々の社員への対応やサービスの充実など処遇向上に努めます。併せて積極的な研究活動や学会活動、地域の学校で薬や生命に関する授業を行うなど、社会貢献と社員のやりがいに繋がる社外活動も行って参ります。

4. 数値目標

(単位：百万円)

	2018年度 実績	2019年度 予想	2020年度 目標	2021年度 目標
売上高	2,585	2,996	3,040	3,234
経常利益	60	75	138	139
売上高経常利益率(%)	2.3%	2.5%	4.5%	4.3%
当期純利益	56	63	118	119
売上高当期純利益率(%)	2.1%	2.1%	3.8%	3.6%
1株当り当期純利益(円)	18.90円	21.08円	39.46円	39.72円

※1株当り当期純利益は2019年3月31日現在の発行済株式数で算出しております。

【本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在当社が入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。今後の様々な要因により、実際の業績等は、本資料の記載内容と異なる結果となる可能性があることをご留意ください。】

用語の説明

(注1) SEND(Standard for Exchange of Nonclinical Data)

米国食品医薬品局(FDA)への新薬申請時に義務化されている非臨床試験データ標準フォーマット

(注2) アンメット・メディカル・ニーズ

いまだに有効な治療法が見つからない疾病に対する医療ニーズ

以上